

JOMSA 特別セッション

「コロナ禍における企業の課題と対応」

司会：富田純一氏（東洋大学）

報告：南公男氏(パナソニック(株))

北林孝顕氏(川崎重工業(株))

水嶋康之氏(コーニングジャパン(株))

大武幹治氏(MHI ソリューションテクノロジーズ(株))

宮澤亘氏(新電元工業(株))

要旨：

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、企業活動の制限、オペレーションやサプライチェーンの停滞により、リーマンショックを上回る社会経済への影響が懸念されている。そうした中、企業関係者は、在宅勤務、もしくは在宅・出社のハイブリッド勤務による業務対応を余儀なくされているケースが多いと推察される。

本特別セッションでは、5名の企業人会員をお招きし、このコロナ停滞期に、企業人として、具体的にどのような課題に直面されているのか、課題に対してどのように対処しようとしているのか、お話しいただく。

弊学会として、コロナ停滞にどう対処するか、ポストコロナの企業経営はどうあるべきかを考える一助としたい。